

令和6年度

中心市街地まちづくり通信 Vol. 4

第4回中心市街地まちづくりワークショップ

2024年7月20日（土）14:00～16:30

竹原市民館 参加者：23名

第4回テーマ

『複合施設の過ごし方を具体化しよう』

第4回中心市街地まちづくりワークショップを開催しました！

昨年度のワークショップで整理した複合施設のコンセプト案のキーワードである“セッション”を具体化するために、複合施設でどのような過ごし方ができるか意見交換しました。

■当日のプログラム



WSの様子

	開会
14:00 ～ 14:45	昨年度のWSの振り返り、WS以降の動き 『ミナガルテンの取組』 講師 谷口 千春 氏
14:45 ～ 16:10	【グループワーク】 複合施設の過ごし方を具体化しよう
16:10 ～ 16:25	各グループからの発表/アドバイザーからの講評
16:25 ～ 16:30	3D都市モデルの概要 今後の予定、閉会

当日の様子

第4回中心市街地まちづくりワークショップには、竹原市内の方を中心に、多くの市民に参加していただき、**全23名**の方にお集まりいただきました。

昨年度のワークショップの振り返りや中心市街地のまちづくりに関する令和5年度のワークショップ以降の複合施設整備に関する検討内容等について、竹原市から情報提供しました。また、ミナガルテン代表の谷口千春氏から、ミナガルテンのコンセプトや整備にあたっての思い、導入機能等を踏まえて、本市の中心市街地のまちづくりや複合施設整備に活用できることなどについてご講演いただきました。

グループワークでは、7～8人の班に分かれ、複合施設での具体的な過ごし方について、意見交換を行いました。参加者の方からは「出会いを大切にできる場所」や「市民が主役となる」、「地元を楽しみながら味わえる」など、インパクトのある意見を多く頂きました。



谷口氏の講演



WSでの発表

第4回中心市街地まちづくりワークショップの結果＜複合施設での具体的な過ごし方＞

赤チーム

ロビーからそれぞれの活動がみえる

バスやタクシー等の公共交通の乗り場があれば利用しやすい

子育て世帯や多業種の交流を育む勉強会をしたい

カフェ等飲食機能があれば他の施設がつながりセッションが生まれる



ホールで音楽鑑賞も運動もしたい

黄チーム

シェアキッチンで交流と賑わいを生みたい

講座の活動を見える化し、新たなきっかけづくり

一時預かりと講座を連携させると面白そう

広場でマルシェをすれば、いろいろな活動がアピールできる



ふらっと気軽に立ち寄れる音楽会の開催

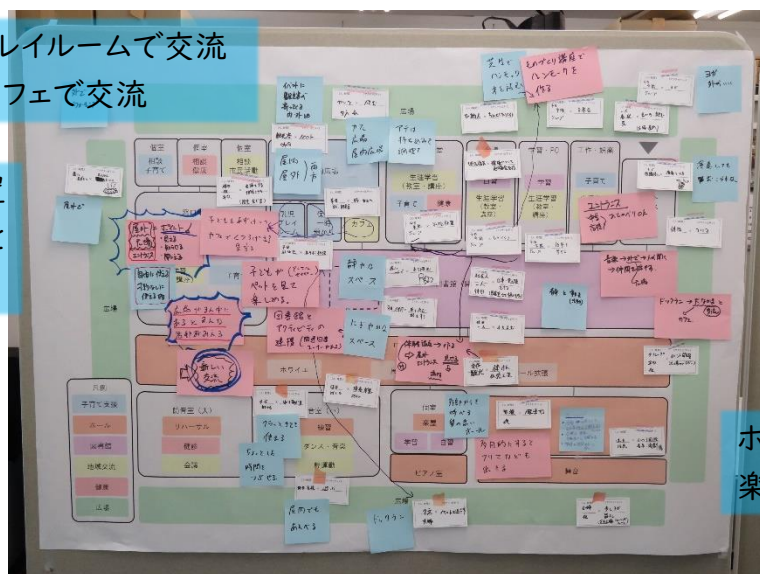
青チーム

子どもはプレイルームで交流
親は隣のカフェで交流

気軽に立ち寄り自由に使える

屋内広場を中心に配置し、活動を見える化すると新たな交流が生まれる

図書館とアクティビティの連携



ホールでイベントや音楽会、体を動かしたい